

たくましく未来を創造する子供たちの育成

校長 小林 繁

朝晩の陽の長さに春の訪れを感じられるようになりました。

まずは、新型コロナウイルスの感染防止についてです。先日配布しました「新型コロナウイルス対策における臨川小学校の対応について」(2月28日付け)でご案内のとおり、渋谷区教育委員会の指示に従い、3月2日より臨時休校といたしました。突然の休校に、ご家庭でも対応に苦慮されていることと存じますが、お子様の健康を第一に考えた対応としてご理解いただきますようお願いいたします。今後、変更があり次第、ホームページやメールでお知らせいたします。

さて、先日の2月29日に、雲一つない青空の下で、「引継ぎ式」と「六年生を送る会」を実施しました。

「引継ぎ式」は、1年生から4年生が見守る中、6年生が、最高学年として担ってきた活動を5年生に引き継ぎました。全校朝会のスピーチ、旗の掲揚やあいさつ当番、なかよし班や委員会・クラブのリーダー、応援団長や陸上記録会など、様々な活躍が思い出されます。5年生は、真剣な面持ちで受け継ぎ、最高学年への自覚を高めたことと思います。

「6年生を送る会」は、5年生の出し物で始まり、6年に挑む、「臨川3番勝負」の「腕相撲」、「百マス計算」、「綱引き」は、いずれも6年生に軍配が上がりました。司会の5年生が盛り上げ、明るい笑い声が校庭に響きました。6年生の出し物は、アンパンマンダンスに始まり、J-POPの歌とダンス、合奏を織り交ぜ、息の合ったパフォーマンス。在校生は憧れの眼差しで見つめ、声援を送っていました。

1～4年生は、感謝の気持ちを込めた出し物を動画に収めました。6年生は、その動画を直前に見て、引継ぎ式に臨みました。急な変更、少ない時間の中で、子供たち、教師たちが、何ができるかを一生懸命考え、創り上げた「引継ぎ式」と「六年生を送る会」です。きっと、大人になっても、ずっと、記憶に残るのではないかと思います。

本年度より、教育目標の前文に、「互いの違いを認め高め合う豊かな心と、急激に変化する社会に柔軟に対応できる知性を身に付け、たくましく未来を創造していく子供たちの育成」を掲げました。まさに、今回のような状況の中でも、前向きに気持ちを切り替えて行事を創造していった子供たちに、「生きる力」を感じました。

特別な対応となる修了式と卒業式におきましても、各学年の児童が進級する喜びをもち、6年生が、未来に向かって大きく羽ばたけるように、創意工夫を凝らしていきたいと思います。

学校評価へのご協力ありがとうございました。アンケート結果をまとめましたのでご報告致します。皆様から頂いた貴重なご意見を来年度の教育課程に活かし、更なる教育活動の充実を図って参ります。保護者の皆様、地域の皆様、令和2年度も臨川小学校の教育活動に、昨年度と変わらぬご理解とご支援を賜りますようどうぞよろしくようお願い申し上げます。



